

タブレットPC上の書字困難小学2年用漢字教材の開発

神戸市立東舞子小学校 教諭 田中 敦夫 ganymede@cameo.plala.or.jp

兵庫教育大学 教員 成田 滋 naritas@ceser.hyogo-u.ac.jp

<http://netclass-aozora.kir.jp/cec/higamai.html>

<http://www.shok.co.jp/cehomepage/>

キーワード：タブレットPC, 書字障害, 軽度発達障害, 教材

1. 研究の目的

昨年度の「IT活用教育推進プロジェクト」では、タブレットPCで利用する小学1年用のひらがな、漢字学習教材を開発し、それを書字や読字に困難を示す子どもに応用し、学習を支援しながら成果を上げてきた。本研究ではその継続として、小学2年の漢字を取り上げ、漢字の成り立ちや由来、熟語に着目し、漢字を意味から理解できるように設計し、音、画像、アニメを自由に扱えるインターフェイスを実装した教材を開発したいと考える。漢字学習を単なる書字練習の対象とするのではなく、漢字に興味を持って意欲的に調べながら覚えていくことのできる漢字学習教材を開発することを本研究の目的とする。

2. 研究の概要

2.1 開発した教材

(1) クイズ感覚で楽しめる漢字教材

属性が同じである仲間の漢字を集める教材、漢字の組み立てパズル教材、漢字のたし算教材などを開発した。



図1 属性が同じ漢字



図2 漢字の組み立てパズル



図3 漢字のたし算

(2) 2年生の漢字辞典

2年生で習う漢字160字分の漢字について、使い方や筆順アニメーション、意味などが掲載されたページを持つ漢字辞典を制作し、上記の学習教材に備え付けた。

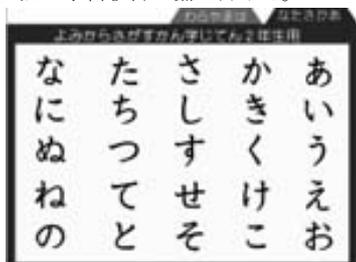


図4 漢字辞典のメニュー

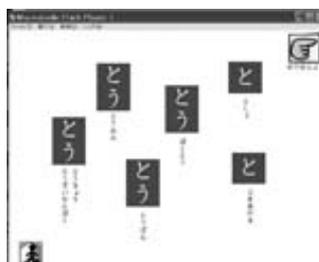


図5 読みから探す



図6 漢字の説明ページ

2.2 実践

2年生の漢字をほとんど書くことができない3年生の児童に漢字の組み立てパズル教材を試みたところ、全部で9問の漢字の問題があるのだが、途中でわからなくなると漢字辞典のページに移って調べようとし、最後までがんばろうとする姿が見られた。また4回も繰り返すなど、パズル教材に夢中に取り組む姿勢が見られた。この後、2つの漢字が新しく書けるようになっていた。

3. 成果と課題

1年生の漢字をタブレットPCで練習してきた児童に、2年生の漢字も引き続き興味を持って学習していけるようにと考えて作った教材であるが、教材によって反応が異なっていた。パズル教材を楽しんだ児童が多く、その教材を使った時は、漢字がわからなくても漢字辞典で調べようとする態度が多量の児童に見られた。また、楽しいと感じた教材は、何度も行おうとし、自然と新しく漢字を覚えることのできる効果も示唆された。課題としては、教材で扱った漢字が数十と少なく、もう少し教材を作るべきであったといえる。また、タブレットPCでの利用という点から、ペンで書いた文字が採点されるという機能をつけることも今後の課題といえる。